

久我山会

國學院大學久我山
中学高等学校同窓会

☎ 168-0082 東京都杉
並区久我山1の9の1
☎ 03(3334)1151(代)



會報

会員 30507名

発行責任者
岸 輝雄

編集責任者
宮阪 光 男
吉村 透



西東京に 久我山あり

久我山会会長

岸 輝雄

同窓生の皆様、平成十九年の年頭に当たり、謹んで新年の御挨拶を申し上げます。また、日頃は久我山会の活動にご理解とご協力を賜りまして誠にありがとうございます。たく、厚く御礼申し上げます。

さて母校は昨秋創立六十二周年を迎えました。戦局険しい昭和十九年の創立以来、幾多の困難を乗り越え國學院大學と合併し、いまや高い評価をいただき



母校「学習センター」 平成20年4月に完成オープン!!

詳細は4面

現在旧西館の跡地に建設が始まりました新学習センターが完成の暁には、英語学習などさらなる効果が期待されるとうるであります。

私達卒業生が胸を張って「母校は國學院久我山です」といえる学園に育てていただきました名誉校長佐々木先生、川福校長先生、そして多くの教職員の皆様にご心より御礼申し上げます。

今後西東京地域の教育環境は少子化とあいまって、他校の進出等もあり少しずつ厳しくなることが予測されますが、時代に先駆けて取り入れた中高一貫教育の優れた特色を遺憾なく発揮され、進学内容の更なる向上を図り、文武共に「西東京に久我山あり」と名実共に大きく飛躍されますことを願っております。

卒業生皆様の社会での活躍や貢献が、しいては母校の評価に繋がるものと考えられますので今後も更なるご精進を御願い申し上げます。

さて、同窓会の活動につきましては毎年五月に行われます代議員会において、ご承認頂きま

また、卒業生も第五十七期生を迎えての総数が三万五百七人となり、同窓会の組織はますます大きくなりました。

第一回の卒業生の皆様は、今年めでたく喜寿の年をお迎えのことと思います。多くの方々は大変御元気で、まだ仕事を持っている方もおられるようです。

その他の草創期の卒業生の皆様方も含めどうぞくれぐれもお身体をおいとい下さい。そして母校の発展振りをお楽しみいただき、年々増える後輩達に叱咤激励を賜りたいと願っております。

そして多くの卒業生はあらゆる分野で、また各地域で活躍しリーダーシップを遺憾なく発揮され、その堅実な仕事振りには高い評価を頂いております。

卒業生皆様の社会での活躍や貢献が、しいては母校の評価に繋がるものと考えられますので今後も更なるご精進を御願い申し上げます。

した活動方針、事業計画に基づきまして実施いたしております。

今年には念願でありました独自のホームページを立ち上げるものが出来ました。但し予算と時間の制約の中での製作の為、まだまだよちよち歩きのホームページですが、活動方針、事業計画やご報告事項などを掲載し、今後はOB会の活動状況なども予定いたしておりますのでご覧いただきたく存じます。

同窓会の運営は卒業時に納入いただいております同窓会費と卒業後十一年経ちました卒業生よりご援助戴いております「賛助年会費」によつて成り立っておりますので、何卒「賛助年会費」の納入にご協力を御願ひ申し上げます。

末筆ではございますが、母校の益々の飛躍発展と恩師先生方そして同窓生皆様にとりまして幸多き年となりますことを心よりご祈念申し上げます。

正月十三日、吉祥寺東急インでの新年交歓パーティには是非お出かけください。恩師先生方共々お待ちしております。

同窓会の運営は卒業時に納入いただいております同窓会費と卒業後十一年経ちました卒業生よりご援助戴いております「賛助年会費」によつて成り立っておりますので、何卒「賛助年会費」の納入にご協力を御願ひ申し上げます。

末筆ではございますが、母校の益々の飛躍発展と恩師先生方そして同窓生皆様にとりまして幸多き年となりますことを心よりご祈念申し上げます。

新年交歓パーティにお越しく下さい。

平成19年1月13日(土) 午後3時30分～5時30分
吉祥寺東急イン3階「むさしの」

※詳細は会報の12面をご覧ください。

丁亥の年明けです。イノシシの亥は無病息災の象徴とか。同窓の皆さんにはつつがなくよい年をお迎えのこととおよろこびを申し上げます。

さっそくですが学園の近況から。昨年は学園創設時の記念の建造物である柔道場が姿を消したことをお伝えしました。

寄る年波の老朽化ということで、昨今の耐震基準にてらして補強保存も考えましたが、学園の将来像を視野に、あらたに西館を解体して新校舎建設に踏み切りました。現在、一部生徒は柔道場跡地の仮校舎に移しての授業ですが、すでに本体工事も始まり、竣工は平成二十年三月を予定しています。

ご存知のように、近年、有名私立附属校が、複数、久我山周辺に移転してくるなど、学園を取りまく状況は年毎に厳しさを加えているなかでの、新校舎学習センター棟の建設です。

学習環境をととのえ、いっそうの学力充実をはかろうとの所存ですが、当然のことながら、私学が役割とする人間形成の柱は、久我山の不易の教育理念として、多くの方から変わらぬ期待をよせられています。

それにしてもここへきての多方面での教育改革は腰が据わっていない、単なるお題目にすぎないのではないかと思われま

す。たとえば公立校が日本の伝統文化の尊重を掲げて教育方針とした事ごとにしても、必修科目の履修漏れ問題にもみられるように、ただ受験勉強への対応に追われているのが実情です。

亥の年のメッセージ



川 福 基 之
長 会 長 学 長 校 長 母 親 会 長

の教育方針には、すこしの揺るぎもありません。幸いなことに生徒諸君の自覚にしても、同世代の若者にくらべて、よろこばしくもきちんとしています。それはなによりも、同窓の皆さんが長年にわたって培ってこられた薫陶あつてのことです。一例をあげれば昨秋の学園祭

にありましては、「凛-IWissh」をテーマに、志ある生き方を模索した二日間でした。

主題に力負けるのではないかとの危惧をよそに学園祭は、状況のうちにいまの時代に生きる久我山の若者が、何を考えどのような活動をしているのか、多くの人に発信され共感を得ました。

その共感はなによりも、わい雑きわまりない近頃の世相にあつて、なおポジティブな生き方を模索する若者への評価であつたように思われます。

ということ、久我山の後輩諸君の健やかな学校生活の一端を紹介しました。

なお紹介をつづけますと、佐々木周二名誉校長には、齢をかさねられて今年九十四歳、さすがに立居振舞いはご不自由になられましたが、久我山の歴史とともに健在です。

最後になりますが、三万名を越す卒業生の皆さんの各界での活躍は、なによりも学園存在の確かな証として誇りのかぎりです。

そうした皆さんのご期待にこたえるべく、学園はいかなる時代にありましても、すべての卒業生の帰属意識を駆り立てる存在でありつづけることをお約束して、拝眉の日が待たれます。

平成十八年度校務分掌

名譽校長	佐々木周二	同部主任	迎田 和彦
校長	川福 基之	部活動後援会	田中 直日
教頭	松原 宏臣	部長	岡部 定征
主事	岡部 定征	部活動運営部	浅野 光洋
庶務主幹	山口 健次	主任	見上 勝清
会計課長	山崎 豊	主任	清水 敦子
顧問	岩崎 徹	特別講座推進センター	
経営委員会	佐々木周二	生徒会運営委員会	
副委員長	岡部 定征	高校委員長	阿久津拓生
委員	山口 健次	中学委員長	岡野 義孝
教務部	山崎 豊	保健衛生委員会	荒木まみ子
部長	今井 寛人	委員会	添田 正吉
同副部長	國清 英明	図書館運営委員会	高橋 知尚
同男子部主任	大瀬 裕司	委員	宮村 千春
同女子部主任	國清 英明	災害対策委員会	山崎 豊
進路指導部	並木 文雄	委員	
部長	伊藤 元	個人情報保護委員会	
同男子部主任	佐藤 伸彦	委員	
同女子部主任	佐藤 誠博	委員	
生徒指導部	土屋謙太郎	委員	
部長	藤田久美子	委員	
部	和 中 正太	国語科主任	渡辺 博之
入試対策部	笠井 誠司	社会科主任	和 中 正太
部長	三戸 治彦	数学科主任	今 井 寛人
同男子部主任	国分 信悟	理科主任	竹内 浩史
同女子部主任		保健体育科主任	堀 泰宏
同女子部主任		芸術科主任	国分 信悟
同女子部主任		技術家庭科主任	福田 篤子
校報編集部		英語科主任	大瀬 裕司
部長		情報科主任	榮 隆生

今年度母校に奉職しました



保健体育科 (50期) 酒井 良幸

本年度より体育科非常勤講師として我が母校でもある本校に勤めさせていただくことになりました。

今からちょうど十年前、中学時代から熱望し、憧れを抱いて入学したこの久我山高校に現在、勤務させていただくことに深い御縁を感じています。そうした思いの中、この半年間一教

師として自分が目指すべき指導者になるために、日々精進しております。

思い返せば高校時代は自身身の人生において一番貴重な時間を過ごした時期でもありません。

文武両道。勉強でも部活でも辛く大変でした。しかしそれ以上に楽しく、学ぶ事が沢山あり、良き先生、先輩、仲間、後輩それら全てが今の自分を支えている力となりました。

特に部活動ではバスケットボールに打ち込み、その後の大学

でもバスケット部に所属し、大学卒業後は都内の私立高校の講師として勤務するかわら、スポーツトレーナーとして中国整

この土台を作っていた久我山高校のために、今度は自分が大いなる夢に向かっていく生徒達の手助けをしていきたいと思っております。初心を忘れず、そして努力を惜しまず、情熱をもって指導に取り組んでいきますので、今後ともよろしく

お願い致します。



首都大学東京 健康福祉学部 春 友里恵

この度、久我山会の新たなメンバーとなりました第五十七期生の代表としてご挨拶申し上げます。

中学、高校の久我山で過ごした六年間は、自分自身と向かい合うことのできた貴重な時間でした。



慶應義塾大学 総合政策学部 鈴木 雄太

本年度、第五十七期生として久我山会の一員となりましたので、ご挨拶申し上げます。

中学・高校と六年間もの間を久我山で過ごしたのにもかかわらず、卒業した今となっては、その六年間があつという間に感じられます。また、大学生活を送るうちに、久我山に在学中は、なかなか気づくことのできなかつた久我山に対する愛校心というものが自分の中にあることに気づきます。私は、中学・高校の六年間サッカー部に所属して

◆国語科

- ・武舎 武彦 (16期)
- ・宮村 千春 (29期)
- ・山路 伸一 (30期)
- ・笠井 誠司 (31期)
- ・時崎 一男 (32期)
- ・山本 則之 (33期)
- ・清水 敦子 (女1期)

◆社会科

- ・鶴田 康二 (24期)
- ・佐藤 誠博 (27期)
- ・高良 武士 (31期)
- ・高橋 秀明 (32期)
- ・佐藤 友子 (女5期)

◆数学科

- ・後藤 大輔 (44期)
- ・今井 寛人 (22期)
- ・三浦 千春 (31期)
- ・渡辺 大輔 (49期)
- ・山田 論 (48期)

◆理科

- ・山岸 良子 (49期)
- ・保健体育科
- ・浜野 昭夫 (22期)
- ・竹内 伸光 (29期)
- ・土屋 謙太郎 (31期)

◆英語科

- ・野田 眞未子 (女6期)
- ・酒井 良幸 (50期)
- ・阿久津 拓生 (38期)
- ・高崎 和美 (女4期)
- ・望月 麻衣子 (48期)

◆事務室

- ・工藤 善雄 (21期)
- ・相田 進 (26期)
- ・田中 品男 (29期)
- ・有坂 好司 (32期)
- ・笛田 信一 (35期)

◆母校奉職OB・OG紹介

◆附属幼稚園

- ・中村 幸穂 (女8期)

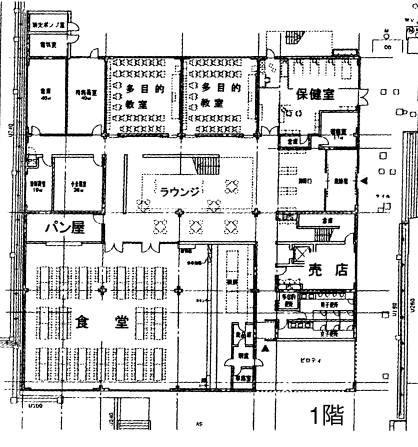
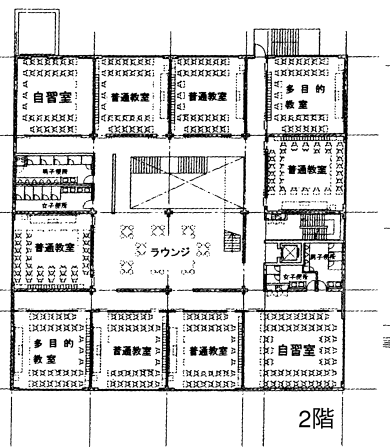
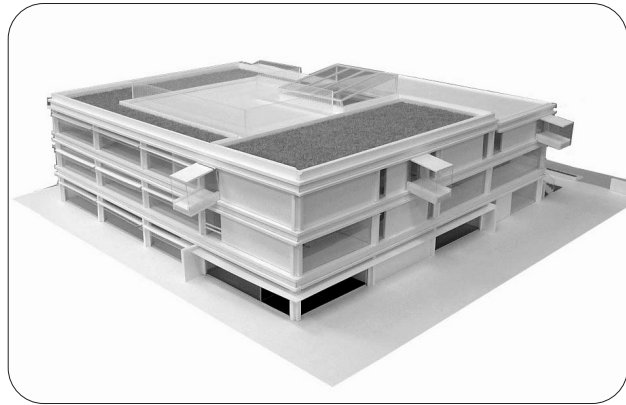
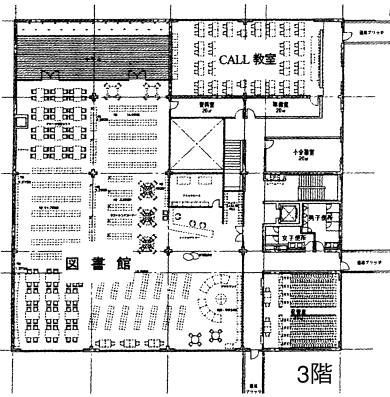
現在、大学では興味深い専門分野の授業が多く、楽しく学んでいます。そして今まで以上に多くの人々との出会いがあり、すが、久我山で学んだ挨拶・礼儀に自信を持って、人との関わり合いを大切にしていきたいと考えています。

これからもあらゆる面において向上心を忘れずに、日々努力していきたいと考えています。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

第57期生です。よろしく申し上げます。

母校「学習センター」建築計画

開設は平成20年4月から



平成二十一年に創立六十五周年を迎える母校は、学習環境整備の一環として「学習センター(仮称)」建設に向けての計画を昨春発表した。後輩生徒がより充実した学園生活を送るための様々な施設を設置した、学びの中心が平成二十年四月に完成する。



地上三階建ての「学習センター」には、食堂や図書館、売店などの機能を維持しながら、よりよい学習環境の実現のため、新たな施設が設置されることになっている。

その概要は、まず一階には食堂、売店、パン屋などのほか、語らいの場となるラウンジや保健室、そして選択授業などで使用する多目的教室が二室設けられる。二階は、中央のラウンジを囲むようにして、ホームルー

國大渋谷キャンパスに「若木タワー」堂々竣工

國學院大學では現在創立百二十周年記念事業の一環として渋谷キャンパスの再開発が進められている。既に「百二十周年記念一号館・二号館」が竣工しており、十八年六月に同キャンパスのシンボルとも言える「若木タワー」が堂々と誕生した。

同タワーは地下一階、地上十八階建てで、その高さは約八メートルにおよび、都市型大學として機能性を十二分に発揮した建物である。内部は事務局、大学院、各学部研究室などで構成され、最上階は「有栖川宮記念ホール」となっている。タワー高層階からは渋谷の街はもちろんのこと、六本木ヒルズも間近に見え、晴れた日には遠く富士山をも望むことができる。

渋谷へお越しの際は新しい國學院大學をぜひご覧下さい。

りよい学習環境の実現のため、新たな施設が設置されることになっている。

その概要は、まず一階には食堂、売店、パン屋などのほか、語らいの場となるラウンジや保健室、そして選択授業などで使用する多目的教室が二室設けられる。二階は、中央のラウンジを囲むようにして、ホームルー

ム教室となる六つの普通教室、二つの多目的教室、そして放課後などに活用する自習室が二室設けられる。最上階の三階には、パソコンを利用した英語学習の場であるCALL教室と図書館が設置される計画である。

親子二代

久我山入学



Question

- ① (親) お子様は久我山に入ることを薦めましたか? どんな理由で?
- ② (子) 久我山に合格したとき、お父さんはなんと仰いましたか?
- ③ (親) 貴兄の久我山時代は? 象徴的な出来事、エピソードをお聞かせください。
- ④ (子) 久我山入学以来、一番楽しかったこと、印象に残ったことは?
- ⑤ (親) 久我山の先輩として、お子様にどんな久我山時代を過ごして欲しいですか?
- ⑥ (子) あなたが久我山でやりたいこと(クラブ活動・趣味・勉強など何でも)は?

【親】

永井 秀明氏 (30期)

東京消防庁救急部副参事
消防指令長・救急救命士

* * *

【子】

永井 杏奈さん

(中学1年)



①《親》久我山入学を薦めたか? 社会に出て年を経っていくことに学園三歳である「忠君孝親」[「明朗剛健」]「研学練能」が身に染みて認識でき、人間の修養を

- ②《子》合格時の父親の反応は? お父さんは合格発表の時は仕事だったので、携帯電話で知らせました。お父さんは「オメデトウ!」と言ってくれました。ただその一言だけでしたが、私はとても嬉しかったです。
- ③《親》久我山時代の思い出は? 成績は常にクラスで下位のほうでした。修学旅行の新幹線では、勝手にグリーン車に移り寝ていたところを車掌に見つかり、当時担任だった川福先生(現校長先生)と一緒に頭を下げて赦してもらうなどホントにいろいろなお世話になりました。
- ④《子》久我山での楽しい事は? 長野・高遠での自然体験教室です。この時に友達がとても多くでき、ログハウスでは、他のクラスの人達とも気軽に話すことができるようになりました。人と人とのふれあいや自然を敬い大切にすることが必要だと感じました。
- ⑤《親》子に望む久我山時代は? 文武両道、勉学もスポーツも

- 全力をふりしぼって取り組み久我山で人間性を磨いていってほしいと思います。卒業生が久我山の門をくぐり在校生と接した時に「やっぱり久我山はいいなあ」と思えるように揺ぎ無い伝統を踏襲していってほしいと思います。三代続けて久我山で学んでほしいなあ…。
- ⑥《子》久我山でやりたい事は? バレー部に入部したのでどんなに辛いことも歯をくいしばって乗り越えレギュラーの座を射止めたいです。勉強面では、苦手科目を無くし、得意科目は今よりも成績を上げていきたいです。

【子】

丹野 友博君

(中学3年)

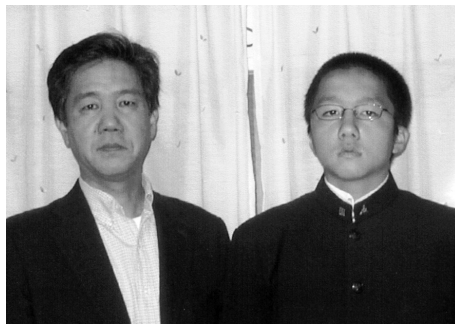
【親】

丹野 孝一氏 (31期)

有限会社 丹野製作所
代表取締役

* * *

- ②《子》合格時の父親の反応は? とても喜んでくれたあとに、「久我山は文武両道で厳しい学校だから、これからは頑張りなさい。」とこれからのことをアドバイスしてくれました。
- ③《親》久我山時代の思い出は? 全国大会出場を目指し、怪我に泣きながらサッカーに明け暮れていた三年間でした。三年連



追って当人が希望していません。文武両道が我家の教育方針であり、両立でき頑張ることが出来る久我山は良い環境だと思いい薦めました。

- ④《子》久我山での楽しい事は? 北海道で行った自然体験教室です。農業体験でお世話になった方々の親切さがとても心に残り、そして然別湖畔の山の頂から見た景色にとっても感動しました。
- ⑤《親》子に望む久我山時代は? 多感な時期でもあり、部活動を通じてよい仲間づくりと、色々なことをたくさん経験し、自分の可能性を信じて目標に向かって取り組んでもらえればと思っています。
- ⑥《子》久我山でやりたい事は? 今はラグビー部で頑張っています。高校生になってもラグビーを続けて頑張っていきたいと思っています。

わが母校が久我山の今

06年大学合格状況

国公立、私立大ともに高い合格力を堅持

平成十七年度卒業生の大学進学状況は三二四名で四年制大学への進学者は卒業生数の約七六%を占めた。

ここ最近の大学入試は私立大のみならず国公立大においても二極化が進み、入学しやすい大学も増加はしているものの、旧帝大などを中心とする国公立大や首都圏私立難関校の入試は相変わらず厳しい状況となっている。

本年度の四年制大学の合格者数は延べ一、〇二三名、これに短期大学、準大学の合格者を含めた総数は一、〇二七名であった。

国公立大学の合格者は六十九名で、東京大学には二名が現役合格している。私立大学では國學院大学の八十一名を含めて、延べ九五四名が合格している。早稲田、慶應、上智大などの最難関校には一七名、また明治、中央、立教大にも多数の合格者

を出している。

主な合格先は次のとおりである。

- 國學院大學 81名
- 筑波大学 5名
- 東京大学 2名
- 東京外国語大学 1名
- 東京工業大学 2名
- 東京芸術大学 1名
- 電気通信大学 7名
- 一橋大学 4名
- 横浜国立大学 10名
- 京都大学 1名
- 首都大学東京 13名
- 青山学院大学 48名
- 学習院大学 10名
- 慶應義塾大学 35名
- 国際基督教大学 1名
- 上智大学 25名
- 中央大学 66名
- 東京理科大学 62名
- 法政大学 47名
- 明治大学 53名
- 立教大学 64名
- 早稲田大学 57名
- 同志社大学 5名
- 立命館大学 13名
- 関西大学 2名
- 関西学院大学 3名

時代に即した学習システムの構築

母校では中高六年間を二年毎に前期、中期、後期課程に区分し、一貫した教育カリキュラムで学習到達度の充実を図っている。平成十四年度より従来の「土曜日」を含めた「週三十四時間」から平日五日間のみでプラス一時間の「週三十五校時制」を導入している。これにより平日一日の授業は「四十五分間七校時制」となり、従前通りの授業数を確保しながら学習の質的向上、充実を目指している。

一方、土曜日は平日の授業では実施の難しい「総合学習」や「特別講座」を開講し有効に活用している。また各種行事や実力試験なども土曜日に実施しており、グローバルな時代に対応した独自の教育カリキュラムを組んでいる。

学習に付随してキャンパスライフを見てみると、前期から中期課程にかけて「自然体験教室」を信州や北海道で実施、都会では経験することが出来ないことを体得している。また学校伝統の「研修会」も高校一年生時に実施されている。その他に歌舞伎教室や芸術鑑賞会などが開催され、日本の伝統文化に触れる機会をも与えている。

平成19(2007)年度 國學院大學久我山高等学校 生徒募集要項

	推 薦	一 般
募集定員	男女 60名	男子 40名 女子 35名
出願期間	【窓口】 1月18日(木) 9:00~14:00	【窓口】 1月25日(木)~2月3日(土) 9:00~12:00
入 試 日	1月22日(月)	2月12日(月・振休)
入試科目	入学適性検査(国語・英語・数学)・面接(受験生)	国語・英語・数学
合格発表	1月23日(火) 10:00~11:00 封書(手渡し)	2月12日(月・振休) 18:00~19:00 封書(手渡し)
入学手続	1月23日(火) 10:00~12:00 1月24日(水) 9:00~12:00 〈入学手続費用〉10万円(この費用は〈入学金〉に充当)	2月12日(月) 18:00~19:00 2月13日(火) 9:00~12:00 〈入学手続費用〉10万円(この費用は〈入学金〉に充当)
(〈入学金〉21万円(予定) (〈入学金〉納入締切 3月3日(土) 9:00~12:00(日・祭日は除く)) ※東京都以外の公立高校については、その発表日まで延納を認める。		
受 験 料	22,000円	
初年度費用(予定)	授業料 366,000円 教育充実費 160,000円 施設費 132,000円 諸費用 72,600円	合計 730,600円

目指せ! 全国制覇!!

高校ラグビー部 16年連続・32回目の花園出場

第八十六回全国高校ラグビーフットボール大会・東京都予選(第一地区)の決勝が平成十八年十一月十九日(日)、東京秩父宮ラグビー場で開催された。

午前十一時半キックオフ、前半一分、パスを繋いでTB岩井選手が先制のトライ。九分にはTB伊藤選手がトライ、更に二十五分、ラインアウトからモールをつくり、そのまま押し込みFW和泉選手がトライを奪った。



後半も勢いは続き、連続トライやTB石井選手の独走トライなどで得点を加えた。久我山はFWとバックスの連携で確実にトライを決め、強固なディフェ

ンスで本郷を寄せ付けず、得点を全く与えなかった。試合は終始久我山ペースで進み41対0で見事優勝。十六年連続、三十二回目の全国大会出場を手にした。

今年度地区予選において久我山はシード校で、三回戦で都立多摩工と対戦、試合は166のスコアを叩き出し勝利、続く都立豊玉戦でも102対5の大差で破り順当に駒を進めた。準決勝では大東大・高と対戦、67対0で快勝、そして本郷高校との決勝戦に挑み、41対0で優勝を掴んだ。



全国大会は十二月二十七日から一月七日まで開催され、出場校は高校ラグビー日本一を目指す。

し激戦を繰り広げる。なお栃木県の子選では國學院大學栃木高校が優勝、七年連続、十二回目の本大会出場を決め、二校揃ってのアベック出場となった。今回も両校ラグーマンの活躍、戦いぶりに目が離せない。ぜひ熱い声援を送っていただきたい。

小林 實先生逝去



元校長の小林實先生が平成十八年六月二十七日、病氣のため逝去された。享年七十八歳。先生は昭和二十八年に奉職、長きに亘り学校運営の陣頭に立ち、学園の発展に寄与された。在職中は体育科主任、生徒指導部主任、教頭、副校長などを歴任した。平成五年には定年退職されたが、学園に隣接する國學院大學附属幼稚園の園長となり、同六年四月には第六代校長に就任、同八年三月に任期満了となり退任された。謹んでご冥福をお祈り致します。

平成19(2007)年度 國學院大學久我山中学校 生徒募集要項

	第 1 回	第 2 回	第 3 回
募集定員	男子 70名 女子 40名	男子 90名 女子 50名	男子 40名 女子 30名
出願期間	【郵 送】 1月20日(土)~1月24日(水) 最終日消印有効 〔受験料振込期間〕 1月4日(木)~1月24日(水)		
	【窓 口】 1月20日(土)~1月30日(火) 9:00~12:00		
入試日	2月1日(木)	2月2日(金)	2月5日(月)
入試科目	4科(国語・算数・社会・理科)		
合格発表	2月1日(木) 18:00~19:00	2月2日(金) 18:00~19:00	2月5日(月) 18:00~19:00
	掲示・インターネット ※〈合格通知書〉受け取り期限 2月6日(火) 12:00		
入学手続	2月2日(金)~2月8日(木) 9:00~12:00		
受 験 料	22,000円		
入学手続費用(予定)	入学金 210,000円		合計 210,000円
初年度費用(予定)	授業料 366,000円	教育充実費 160,000円	施設費 132,000円 諸費用 72,600円 合計 730,600円

久我山卒業生ここに在り 各界で活躍する同窓生

①現在の仕事は何ですか？

②仕事上で印象に残っていることは何ですか？

③今後進めていきたい仕事はどのようなことですか？

④久我山時代の思い出は？

総合印刷での実績を維持して

〜業界ナンバー1を
目指して〜

三木幸生氏(29期)

株廣済堂 東京事業部
営業本部営業五部部長



①現在の仕事は？

大学卒業後、総合印刷会社である株式会社株廣済堂に入社して二十数年が経ちました。現在は営業最前線の部長として忙しい日々を送っています。

主に担当はカタログやパンフレットといった商業印刷ですが昨今はペーパーへの印刷だけでなく、IT関連事業も展開しており、新しい技術の勉強も絶やすすことが出来ません。

②仕事上印象に残っていること

今までに苦勞した事を書き出せば枚挙に暇がないかもしれませんが。しかしその中で出会った人達が社内外を問わず、今の自分を支えられているのだと思っています。

若い頃担当したお客様で無理

を承知で請け負った仕事にまさしく不眠不休で当たったことがありました。しかしその努力が認められ、今では当社のメインクライアントの一つとして成長させてきたことが営業マンとしてとても大きな自信となっています。

③今後進めていきたい仕事は？

時代の変化とともに印刷業も大きな変換期を迎えています。単なる受注産業からの脱却は取り組むべき大きな課題です。その一つ一つのプロジェクトを大きな成果として残すことが、今後の会社を左右すると考え精一杯努力をしていく所存です。

④久我山時代の思い出は？

高校時代は剣道部に所属していました。当時は今の体育館もなく、教室を改造したような道場で稽古をしていました。故奥山師範の頭から叩き割られるような一撃や倉田先生のすばやい身のこなしは今でも体が覚えているような気がします。

高校時代決して模範的な生徒とは言い難かった私は残念ながら勉強のことは記憶が薄らいでしまっています。でも授業の合間に隠れて食べた食堂のカレーやスパゲッティの味は今でも忘

れることがないと思います。

家族の絆とは…

〜家族で欧州二万二千キロを
自転車横断二〇〇六〜

関口 治氏(32期)

フリーライター



①現在の仕事は？

フリーのライターです。家族関係や教育をテーマとした題材の執筆を行っています。

②仕事上印象に残っていること

家族四人で様々なプロジェクトに挑戦してきました。一九九七年に幌馬車でのアメリカ中西部横断、二〇〇〇年に自転車でのアメリカ大陸横断、二〇〇六年に自転車でのヨーロッパ十五か国を縦断。いつも家族四人でのチャレンジでした。子供たちが小学校から高校生になるまでの期間、子供たちと家族の変化を見つめながら写真や文章にその

成長過程を残した仕事は、現在の仕事のテーマにつながっています。世の中に一人で挑戦する人は数多くいますが、家族でなにかに挑むということは、一人で行うことよりも難しい面、その達成感も大きなものだと思えました。

③今後進めていきたい仕事は？

IT技術を駆使して海外から様々なプロジェクトの状況を日本の子供たちにレポートしていることから「ITウォーカー」の先駆者になっています。英語で鬼ごっこの「鬼」のことを「IT」と言います。そのことから、IT技術と鬼ごっこの鬼のように何かを懸命に追いかける姿を重ねて「ITウォーカー」という言葉を作りました。今後のプロジェクトでも子供達が夢を感じられるようなメッセージを様々な形で発信していきたいと思っています。また今後のプロジェクトでは、夫婦に焦点を当てた活動も展開したく思います。

④久我山時代の思い出は？

御殿場で行われていた研修会の印象が強く残っています。朝から晩までの行進の練習中、学校生活や人生について様々なことを考えさせられました。富士山を仰ぎ見ながら「軍隊みたいな学校に入学してしまっただけ」と行進していました。

華やかに!!

平成18年新年交歓パーティ開催

※※※※※
 ※※※※※
 ※※※※※

本会の新年交歓パーティが平成十八年一月八日午後三時から吉祥寺・東急インにて賑やかに開催された。

まず初めに岸輝雄会長が挨拶、日頃の御礼と母校の発展に寄与できる活動を今後も行っていきたいと述べた。続いて来賓の岡部定征教頭から祝辞を頂いた。

前校長の千勝三喜男先生による乾杯の発声で懇親へと入った。年々若い卒業生の姿も多くなり、今回の出席者も二百五十名を超える程で大変盛況であった。一年振りの恩師、友人らと

の再会に会場からは笑い声が絶えず、熱気に包まれ終始和やかな雰囲気であった。



久我山祭に同窓会の部屋

”凜”母校奉職同窓生の33名の顔

毎年恒例となっている久我山祭が「凛(I wish)」をテーマに九月三十日、十月二日の二日間にわたり開催された。本会もこれに参加、例年通り

「お休み処」の場を設け、喫茶サービスを行った。これに加え今回は母校を卒業した教職員十三名の協力を得て、顔写真とコメントをパネルにした展示を行った。学生時代に打ち込んだ部活動の様子や楽しい思い出や辛い経験などが面白おかしく綴

られ、先生方の意外な一面を垣間見ることが出来たようである。またくじ引きも行われ、当たりくじを射止めた子供達からは歓声が沸きあがっていた。

一方、将来学園入学を志望する親子からはこのパネルを見て「こんな先生からいろいろ教えてもらいたいね」などの声も聞かれ、今年の企画展示は同窓会として充分な役割を果たしたと言える。

売上金は例年どおり、母校生

千勝先生短歌詞華集を刊行

母校前校長の千勝三喜男先生が平成十八年二月に『現代短歌分類集成—20世紀—』の「万華鏡—」と題した短歌詩華集を刊行された。

この集成は明治時代から平成に至るまでに活躍した三百名を超える歌人の短歌約三万首をテーマごとに分類し、さらに中項目、小項目と細分化した、今までにはない構成となっている。

先生はこの編集作業に十二年におよぶ年月を費やし、お一人で成し遂げられた功績に賞賛する声が多く寄せられている。日本の伝統文化である「短歌」を研究するには大変貴重な書



で、また短歌を愛する人々にも大変役立つ画期的なものである。

◎発行・株おうふう
 ◎定価 二、六〇〇円(税込)



徒会久我山祭実行委員会を通して、全額、公共団体へ寄付することになっている。

久我山OB

川邊選手(國大)

伊勢路を激走

大学三大駅伝のうちの一つ「第三十八回全日本大学駅伝対校選手権」が十一月五日に開催された。この大会に母校卒業生

で、現在、國學院大學法学部二年生の川邊一将選手が出場した。力走振りを見せるもチームは上位入賞を果たすことが出来ず、総合成績十五位の結果に終わった。

また正月二日、三日には「第

久我山会のHPが新しくなりました!! ホームページにアクセスしませんか?

<http://www.kugayamakai.com/>

- *HPでは会則をはじめ活動報告、事業報告を行っており、役員・代議員の紹介もしております。さらに行事予定(新年交歓パーティ・久我山祭)なども掲載しております。
- *今後楽しく、充実した内容にするために卒業生の情報などもどしどしお寄せ下さい。
- *ぜひ、皆様からのアクセスをお待ちしております。
- *同窓会事務局宛のメールはHPトップページ、「E-MAIL」から送信出来ます。

八十三回箱根駅伝」が開催されるが、國學院大學が二年連続の出場をすることとなった。

現在出場選手は未定だがエントリーされることを期待したい。ぜひ國大チームへ熱いエールを送っていただきたい。

平成18年度 久我山会代議員会開催

(18年5月10日水) 私学会館にて

平成十八年度久我山会代議員会が五月十日午後六時半より、アルカディア市ヶ谷・私学会館において開催された。今回の代議員会には代議員三十八名、役員十二名、オブザーバー一名の出席があり、来賓として母校山口主幹のご臨席をいただいた。議長に吹奏学部OB・OG会の岡弘幸氏、副議長に五十五期の佐貫裕介氏を選出し、議案審議に入った。

第一号議案の平成十七年度経過報告、第二号議案の平成十七年度会計報告並びに監査報告、第三号議案の平成十八年度事業計画、第四号議案の平成十八年度予算案、第五号議案の役員人事とともに、熱心な審議の上、原案通り満場一致で承認された。本年度の主な事業計画は、①代議員会の開催②母校久我山祭への参加③久我山会会報第四十五号の発行④新年交歓パーティーの開催⑤卒業生(新会員)への記念品贈呈⑥同期会、クラブ等OB・OG会、関西久我山会への支援⑦本会ホームページの独自サイトの立ち上げと更新⑧定例役員会、各委員会、プロジェクトの開催⑨年度版会員名簿台帳の管理などである。

久我山会代議員

平成18年度

【各期選出】

- 1期 佐々木博・大泉勇
2期 水野健樹・海野秀男
3期 斎藤稔・笠井孝昭
4期 初鹿博雄・田島久矩
5期 駒形順巳・大熊高明
(旧制中学女子)
鈴木久子・石曾根法子
6期 原武・山本和人
7期 上原繁・岩崎勉
8期 鈴木輝司・山本知明
9期 小川裕司
10期 荻田辰吉・玉野攻
11期 市川敏則・石井弘美
12期 松下豪男・佐藤孝雄
13期 坂名井清人・中村善郎
14期 千賀重雄
15期 花田勲・中村吉二
16期 関健二・加藤徹郎
17期 平田賢三・上杉吉男
18期 久保哲郎
19期 岩崎明
20期 奥栄司・井上邦博
21期 栗下実・阿久津浩
22期 風間裕一・上脇辰三
(定時制女子)
長尾初枝・山田一子
23期 橋本清
24期 高山弘・栗原健之

- 25期 梶原敦・佐々木信次
26期 橋本修・清水芳見
27期 松岡弘人・澤田和久
28期 安西武彦・土屋良紀
29期 大田隆男・鳴嶋一明
30期 岡野新一
31期 太田賢二・飯沼久弥
32期 佐脇敬一郎・堀内隆明
33期 奥秋秀明
34期 森元公一郎・岸田安広
35期 牧野昌克・薄井健史
36期 田辺正人・村木徳親
37期 橋本雅史・阿部直也
38期 大井則和
39期 武田繁幸
40期 山辺明子
41期 伊藤英明
42期 菊地久貴・池田克也
43期 岡田知子・相川惠理子
44期 寺地淳・平田英二
45期 神崎幸・岡村由美
46期 五十嵐友昭・蔵大輔
47期 村山直子・水戸部雅子
48期 後藤暁・小栗達郎
49期 河野聖
50期 小勝隆有・宮地裕
51期 間中敬子・中村悦子
52期 斉藤洋平・植田収作
53期 大西愛子・岡部佐樹子
54期 中島賢・平田昌美

- 48期 加藤和行・岡安悠美
49期 岩田いづみ
久保昭子・松井道代
50期 中馬雅倫・角田寛和
石井夏生・斉藤英代
51期 庄司英敏・多田哲也
矢賀美希・八幡麻衣子
52期 高尾和成・中村隆行
田中日香里・田村恵
53期 朝稲央樹・庄司義史
平塚舞
54期 鈴木亮平・高須健
佐藤みつ恵・山口望
55期 川添浩司・佐貫裕介
石橋奈津美・角田千佳
56期 本橋匠・本橋高広
落合由布子・塩塚実緒
57期 鈴木雄太・高田悠
春友里恵・川端茉莉子
(クラブ等OB・OG会選出)
(ラグビー部) 岡崎正之(6期)
(バスケット部) 辻昭雄(8期)
(野球部) 勝見彰夫(9期)
(写真部) 座間明彦(12期)
(柔道部) 高木信夫(6期)
(美術部) 高橋実(3期)
(卓球部) 川村英夫(11期)
(音楽部) 坂田稔(28期)
(バレー部) 西村実(19期)
(陸上競技部) 小磯政雄(28期)
(山友会) 深山健太郎(37期)
(サッカー部) 樋口陽一(28期)
(水泳部) 坂本聡(40期)
(吹奏楽部) 岡弘幸(38期)

平成18年度 久我山会役員・委員

- 名誉会長 川福基之(学校長)
会長 岸輝雄(7期)
副会長 宮阪光男(16期)
木ノ内喜久雄(16期)
細測満(22期)
湯川邦隆(38期)
高橋千秋(12期)
飯田芳男(29期)
中川秀利(12期)
岩田清美(女2)
総務 増田知(10期)
田中品男(29期)
笹田信一(35期)
組長 梅田好彦(22期)
宮村千春(29期)
広報 吉村透(38期)
時崎一男(32期)
事業部長 安西一英(30期)
須藤大輔(40期)
高橋雄大(55期)
吉田洋幸(55期)
山本則之(33期)
田坂英一(44期)
大澤義人(44期)
野田眞美子(女6)

賛助年会費 (3千円以上) は毎年ご納入ください。
卒業後11年以上 (平成7年卒第46期まで) が対象です。
 同封の振込用紙で郵便局よりお振り込みください。

18年度賛助会費納入者一覽

◆同窓会活動が活発に行われるためにも、本年も賛助会費のご納入を宜しくお願い致します。
 ◆今年の対象者は、平成七年以前の母校卒業後十一年以上の同窓生で、一期生から四十六期生まで、および旧中学女子部、定制女子部の皆さんです。
 ◆賛助会費は一口千円、三口以上の納入を毎年お願い致します。
 ◆青色の郵便振込用紙を会報に同封しておりますので、お近くの郵便局よりお振込み下さい。
 昨年十月から本年九月末日までの納入者は以下のとおりです。御礼を申し上げますと共に、本年も何卒宜しくお願い致します。
 ◆お寄せ頂いた会費については個人情報保護法が施行されておりますが、従来どおりお名前のみ掲載させて頂きます。

久我山会会計報告

■平成17年度一般会計報告

《収入の部》

前年度繰越金	1,368,631円
本年度入会金	5,040,000円
自販機売上げ手数料	100,000円
新年交歓パーティ会費	578,000円
名簿販売金より繰入	71,192円
雑収入	41円
計	7,157,864円

《支出の部》

総務費	1,789,586円
組織費	350,000円
事業費	1,289,163円
広報費	2,519,858円
予備費	0円
次年度繰越金	1,209,257円
計	7,157,864円

■17年度賛助会費納入金報告

《収入の部》

前年度繰越金	3,377,368円
本年度納入金	905,000円
利息	28円
計	4,282,396円

《支出の部》

次年度繰越金	4,282,396円
計	4,282,396円

■平成17年度名簿販売金報告

《収入の部》

前年度繰越金	71,192円
名簿売上金	0円
計	71,192円

《支出の部》

一般会計へ繰出	71,192円
計	71,192円

■平成17年度基金報告

定期預金	10,005,609円
定期預金	7,790,830円
計	17,796,439円

■平成18年度一般会計予算

《収入の部》

前年度繰越金	1,209,257円
本年度入会金	5,088,000円
賛助会費より繰入	282,396円
自販機売上げ手数料	100,000円
新年交歓パーティ会費	550,000円
計	7,229,653円

《支出の部》

総務費	2,290,000円
組織費	500,000円
事業費	1,450,000円
広報費	2,700,000円
予備費	269,653円
計	7,229,653円

- 〔1期〕 渡辺泰夫・武田国彦・塚本昭・関根脩・池谷桂之助・組村明・富沢俊雄・高井光正・小林由衛・山下惠三・渡辺一郎・塚村男・鈴木青男・武井永・高知尾弘之・佐々木博・本多宏一・太田浩正・高橋一行・湯浅敏郎・米川良夫・村田博・小川幸一・大泉勇・坂内恒雄・青木章平・大神弘道・沼田敏男・平野見明・小沢豊一・小林秀男・水野玄
- 〔2期〕 海野秀男・水野健樹・日毛良次・塚原淳男・村井醇・池田和郎
- 〔3期〕 吉野良枝
- 〔4期〕 齊藤稔・大須賀俊式・宮沢好夫・飯島嶺・岡田雅明・笠井孝昭・片岡達夫・鈴木幸次・荒井実・伊藤英夫・鈴木光雄・高橋英彦
- 〔5期〕 別府正裕・岩瀬嘉延・初鹿博雄・井手隣信・村井正大・星野春雄・高橋武夫
- 〔6期〕 松井盛二・渡辺孝・須藤栄二・福田順郎・山内良夫
- 〔7期〕 光田明正・後藤登・高木信夫・岡崎正之
- 〔8期〕 市川久・岸輝雄・福西宏・島田恭男・安藤勲・中島秋雄・夏原寿一・初音栄一・岩崎勉・乾勝人・菅原淳一
- 〔9期〕 宮崎亮三・小川春夫・菅原国衛
- 〔10期〕 吉永重治・増田知・萩田辰吉・宮崎智司・玉野政・安藤健・戸澤稔夫・中山紀男・小山紘・岡田弘・岡崎正居
- 〔11期〕 橋本良征・伊藤馨・吉田清・永井康温・秋本重義・川村英夫
- 〔12期〕 高橋千秋・前田俊治・稲木武司・中川秀利・菊池昭雄・大西秀機・本橋聡・村上功夫
- 〔13期〕 塩岡淳子・白山謙次・藤森正樹・千葉勉
- 〔14期〕 齊藤節・灰塚邦嘉・穂葉誠一・箕輪綱夫・鎌田鋭士
- 〔15期〕 後藤正英・内海博之・内田寛・徳田実彰・水野重信
- 〔16期〕 木ノ内喜久雄・宮阪光男・城内順一・星野敏夫・加藤徹郎・高木和夫
- 〔17期〕 飯田良雄・松本元・平田賢三・上杉吉男・稲垣茂行
- 〔18期〕 鳥越俊男・鈴木正昭・小俣能範・石田光保・中川健一・佐藤義昭・中川大己・杉田正治・橋本直紀・園田吉明・滝沢広忠
- 〔19期〕 中川勲・鈴子陽一・和田隆史
- 〔20期〕 福井俊光・長谷川修康・宮川正義
- 〔21期〕 石丸剛・工藤善雄・上田浩憲
- 〔22期〕 風間裕一・赤沢賢一・今井寛人・細満満・匂坂光秀・佐々木正知・梅田好彦・矢島秀樹・志村幸男
- 〔23期〕 石坂雅寛・大堀全通・伊藤嘉朗・中村嘉宏・大野浩二・蕪山文男・矢作忠明
- 〔24期〕 加藤京子
- 〔25期〕 鈴木浩司・匂坂吉延・加賀山恵・杉本唯夫・中村一正・石井康正
- 〔26期〕 藤田昌子・村瀬菊枝
- 〔27期〕 小沢俊之・引地久之・和知三郎・加藤正義
- 〔28期〕 橋本修・早川典久・杉原弘之
- 〔29期〕 鳥村博之・伴洋克・佐藤誠博・桑原則道・大山秀広・福山勝久
- 〔30期〕 小野田陸春・飯野和芳・三輪明広・高橋信幸・土屋良紀
- 〔31期〕 小西陸子
- 〔32期〕 大野泰・齊藤明比古・武田武・中山正弘・飯田芳男・田中品
- 〔33期〕 山本則之・戸部隆宏
- 〔34期〕 門田信・曾我有信・高橋寛明・土井俊彦・森元公一郎
- 〔35期〕 笛田信一・峰岸則孝・薄井健史・松原雅春
- 〔36期〕 内藤健・河野通具・浦山紀幸
- 〔37期〕 松丸康
- 〔38期〕 湯川邦隆・佐藤悌・阿部哲・吉村透
- 〔39期〕 菊池圭祐・小山満・岡弘幸
- 〔40期〕 新井英行・須藤大輔・熊倉淳
- 〔41期〕 岩田清美
- 〔42期〕 神田稔・小泉充之
- 〔43期〕 橋本敏行
- 〔44期〕 後藤大輔・千賀徳之・大沢義人・田坂英一
- 〔45期〕 野田眞実子
- 〔46期〕 相原康伸
- 〔47期〕 高橋雄大・吉田洋幸
- 〔48期〕 期間中合計納入者 二五八名
- 〔49期〕 期間中合計額 九一六〇〇〇円
- 〔50期〕 以上敬称略

〔7期〕 市川久・岸輝雄・福西宏・島田恭男・安藤勲・中島秋雄・夏原寿一・初音栄一・岩崎勉・乾勝人・菅原淳一

〔9期〕 宮崎亮三・小川春夫・菅原国衛

〔10期〕 吉永重治・増田知・萩田辰吉・宮崎智司・玉野政・安藤健・戸澤稔夫・中山紀男・小山紘・岡田弘・岡崎正居

〔11期〕 橋本良征・伊藤馨・吉田清・永井康温・秋本重義・川村英夫

〔12期〕 高橋千秋・前田俊治・稲木武司・中川秀利・菊池昭雄・大西秀機・本橋聡・村上功夫

〔13期〕 塩岡淳子・白山謙次・藤森正樹・千葉勉

〔14期〕 齊藤節・灰塚邦嘉・穂葉誠一・箕輪綱夫・鎌田鋭士

〔15期〕 後藤正英・内海博之・内田寛・徳田実彰・水野重信

〔16期〕 木ノ内喜久雄・宮阪光男・城内順一・星野敏夫・加藤徹郎・高木和夫

〔17期〕 飯田良雄・松本元・平田賢三・上杉吉男・稲垣茂行

〔18期〕 鳥越俊男・鈴木正昭・小俣能範・石田光保・中川健一・佐藤義昭・中川大己・杉田正治・橋本直紀・園田吉明・滝沢広忠

〔19期〕 中川勲・鈴子陽一・和田隆史

〔20期〕 福井俊光・長谷川修康・宮川正義

〔21期〕 石丸剛・工藤善雄・上田浩憲

〔22期〕 風間裕一・赤沢賢一・今井寛人・細満満・匂坂光秀・佐々木正知・梅田好彦・矢島秀樹・志村幸男

〔23期〕 石坂雅寛・大堀全通・伊藤嘉朗・中村嘉宏・大野浩二・蕪山文男・矢作忠明

〔24期〕 加藤京子

〔25期〕 鈴木浩司・匂坂吉延・加賀山恵・杉本唯夫・中村一正・石井康正

〔26期〕 藤田昌子・村瀬菊枝

〔27期〕 小沢俊之・引地久之・和知三郎・加藤正義

〔28期〕 橋本修・早川典久・杉原弘之

〔29期〕 鳥村博之・伴洋克・佐藤誠博・桑原則道・大山秀広・福山勝久

〔30期〕 小野田陸春・飯野和芳・三輪明広・高橋信幸・土屋良紀

〔31期〕 小西陸子

〔32期〕 大野泰・齊藤明比古・武田武・中山正弘・飯田芳男・田中品

〔20期〕 福井俊光・長谷川修康・宮川正義

〔21期〕 石丸剛・工藤善雄・上田浩憲

〔22期〕 風間裕一・赤沢賢一・今井寛人・細満満・匂坂光秀・佐々木正知・梅田好彦・矢島秀樹・志村幸男

〔23期〕 石坂雅寛・大堀全通・伊藤嘉朗・中村嘉宏・大野浩二・蕪山文男・矢作忠明

〔24期〕 加藤京子

〔25期〕 鈴木浩司・匂坂吉延・加賀山恵・杉本唯夫・中村一正・石井康正

〔26期〕 藤田昌子・村瀬菊枝

〔27期〕 小沢俊之・引地久之・和知三郎・加藤正義

〔28期〕 橋本修・早川典久・杉原弘之

〔29期〕 鳥村博之・伴洋克・佐藤誠博・桑原則道・大山秀広・福山勝久

〔30期〕 小野田陸春・飯野和芳・三輪明広・高橋信幸・土屋良紀

〔31期〕 小西陸子

〔32期〕 大野泰・齊藤明比古・武田武・中山正弘・飯田芳男・田中品

〔33期〕 山本則之・戸部隆宏

〔34期〕 門田信・曾我有信・高橋寛明・土井俊彦・森元公一郎

〔35期〕 笛田信一・峰岸則孝・薄井健史・松原雅春

〔36期〕 内藤健・河野通具・浦山紀幸

〔37期〕 松丸康

〔38期〕 湯川邦隆・佐藤悌・阿部哲・吉村透

〔39期〕 菊池圭祐・小山満・岡弘幸

〔40期〕 新井英行・須藤大輔・熊倉淳

〔41期〕 岩田清美

〔42期〕 神田稔・小泉充之

〔43期〕 橋本敏行

〔44期〕 後藤大輔・千賀徳之・大沢義人・田坂英一

〔45期〕 野田眞実子

〔46期〕 相原康伸

〔47期〕 高橋雄大・吉田洋幸

〔48期〕 期間中合計納入者 二五八名

〔49期〕 期間中合計額 九一六〇〇〇円

〔50期〕 以上敬称略

〔33期〕 山本則之・戸部隆宏

〔34期〕 門田信・曾我有信・高橋寛明・土井俊彦・森元公一郎

〔35期〕 笛田信一・峰岸則孝・薄井健史・松原雅春

〔36期〕 内藤健・河野通具・浦山紀幸

〔37期〕 松丸康

〔38期〕 湯川邦隆・佐藤悌・阿部哲・吉村透

〔39期〕 菊池圭祐・小山満・岡弘幸

〔40期〕 新井英行・須藤大輔・熊倉淳

〔41期〕 岩田清美

〔42期〕 神田稔・小泉充之

〔43期〕 橋本敏行

〔44期〕 後藤大輔・千賀徳之・大沢義人・田坂英一

〔45期〕 野田眞実子

〔46期〕 相原康伸

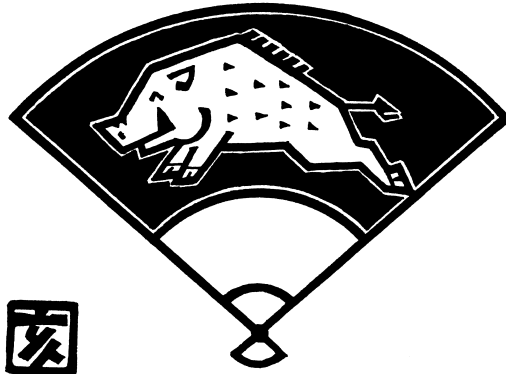
〔47期〕 高橋雄大・吉田洋幸

〔48期〕 期間中合計納入者 二五八名

〔49期〕 期間中合計額 九一六〇〇〇円

〔50期〕 以上敬称略

謹賀新年



同窓生の皆様のご多幸とご活躍をお祈りします。

平成19年元旦

久我山会



平成18年の新年交歓パーティーも、吉祥寺東急インで開催され、250名を越える参加者で若い卒業生の姿が目立ち、会場は熱気に包まれ大盛況でした。

久我山会

新年交歓パーティーにお越しく下さい。

今年も、恩師・先輩・友人・後輩と旧交を温めに是非ご参加ください。新春運試しの豪華福引や、吹奏楽部OB・OG会有志による楽しい生演奏などのアトラクション、お酒・料理も十分に用意してお待ちします。



日時●平成19年1月13日(土)

午後3時30分～5時30分

会場●吉祥寺東急イン

3階「むさしの」

武蔵野市吉祥寺南町1-6-3

TEL.0422-47-0109

会費●男性社会人/3,000円

女性・学生/2,000円

18年卒業生/無料招待

(当日会場でお納め下さい)

